

## 値上げと値下げ

原油価格の高騰で、ガソリンの値段が、リッター110～120円くらいのものが、170～180円に達した。皆大慌ての感じで、クルマを売りとぼしたものもいるし、クルマの運転を控えたりしたため、道路の混雑がいつとき緩和した。先日、ガソリン代が5円安くなった。TVで若い男が嬉しそうな顔をして「この時を待っていました」とまた、クルマに乗るようになったという・・・こいつ、アホか？！

もともと120円のものが175円になっているのだから、1.5倍くらいの値上げになっているのを忘れている。用もないのにクルマでウロチョロするな！

これが、大多数の日本人の発想としたら、日本人の記憶力の悪さに呆れる。ちょっと飴をしゃぶらせると、本来のことを忘れてすぐにとびつく。戦後さんざん迷惑をかけられたマッカーサーが、“**Old soldiers never die, just fade away**”と言ったら涙を流して別れを惜しんだ。高山正之さんによれば、(前略)マッカーサーは運輸省の松尾静磨に日本の国内航空を二人でやって大儲けしようと言い寄る。しかし松尾は、「我々はあんたよりはるかに大物と契約している。成功すれば日本の空は日本に返す約束だ」と突っぱねた。・・・事実、GHQの頭越しに、日本人の日本航空の設立認可を取り付けている。

朝日新聞が「日本の恩人」と感激して書いているマッカーサーは実はとても小物で金に汚い人物だった。マッカーサーの任務はただひとつ。ルーズベルトのいう「好戦分子は伝染病患者のように隔離されねばならない」(隔離演説)を実施することだった。(中略)

彼（マッカーサー）はそこで日本衰退のために手を尽くす。・・・財閥を解体し、非工業国家化を急ぎ、日本のいいところすべてを解体した。しかし官僚機構には手をつけなかった。官僚が蔓延すれば（はびこれば）国は滅ぶからだ。・・・（それら一連の）日本滅亡のシナリオの仕上げがああ憲法だった。・・・

政府は悪者という刷り込みで国民に政府不信感を持たせ、・・・おかげで今の新聞ときたらマッカーサーははびこらせた役人の悪行あふれ、云々。

（・・・だからマッカーサーは大統領になれずに、アイゼンハウアーに横取りされたようなもの。）

・・・まずマッカーサーかぶれのNHKの視聴と朝日の購読やめることから今年を始めよう。

値上げが悪いとはいわない。昭和48年のオイルショックのとき、「千歳一遇の儲けるチャンス」とはしゃいで顰蹙を買った石油会社の社長がいるらしいが、私利私欲の権化だな。物事の本質もみえていないし。・・・便乗値上げはともかく、小麦粉が上がり、卵が上がり、運送費が上がればパンやケーキなどの小売業者は商品を小さくしたりして実質的値上げをせざるを得ない。これを責める人が大勢いるのだが、では業者の生活保障を誰がするのか？

ここで問題になるのは、110～120円/lが適正かどうかである。これで富豪になるというなら、高すぎる。もっと下げてもいい。ギリギリ従業員の給料を払って、なんとか生活でき、貯えもできる状態であれば適正だろう。50円値上げしても収支ギリギリというなら、日

本人はあまりにも、他人に対する思いやりがなさすぎて、「自分さえよければ・・・」に走りすぎている。

給料のところに書いたが、自分が買う物、必需品は安くして、自分の給料のみが高くなることを要求するというのは、あまりにも勝手すぎる。

冒頭の若い男ばかりなら、こんな単純な、目先の利益ばかりを追っかける連中ばかりなら、想像・思考することを放棄したような連中ばかりなら、**日本は近い将来、亡国の道を歩むであろう。**